

	氏名	職名	所属	係・講座	研究分野
1	カナミツ ケイコ 金光 桂子	教授	文学研究科	文献文化学専攻 東洋文献文化学講座	日本古典文学。 特に、平安時代から室町時代にかけての物語、和歌。
2	ヨコチ ユウコ 横地 優子	教授	文学研究科	文献文化学専攻 東洋文献文化学講座	南アジアの言語・文学・文化 (サンスクリット文献学、ヒンドゥー教史)
3	スギウラ カズコ 杉浦 和子	教授	文学研究科	行動文化学専攻 行動文化学講座	人文地理学、都市地理学、空間分析、地理学史
4	サイトウ ナオコ 斉藤 直子	教授	教育学研究科	教育学環専攻 教育・人間科学講座	アメリカ哲学、教育哲学
5	タカハシ ヤスエ 高橋 靖恵	教授	教育学研究科	教育学環専攻 臨床心理学講座	教育学研究科、臨床心理学講座にて、臨床実践指導者養成に従事。 心理臨床学・心理アセスメント・精神分析的精神療法・家族心理学を専門にしています。
6	サノ マユコ 佐野 真由子	教授	教育学研究科	教育学環専攻 教育社会学講座	文化政策学 ・文化政策史の研究 ・文化交流史(外交の文化史)研究 ・万国博覧会史の研究(万博学) ・「大きな文化政策学」の構築に向けた研究
7	タケウチ リオ 竹内 里欧	准教授	教育学研究科	教育科学専攻 教育社会学講座	社会学
8	タナカ トモコ 田中 智子	准教授	教育学研究科		教育史・日本近現代史 高等教育の歴史を、学校設立と地域との関係という観点から、あるいは来日した医療宣教師と行政との関係に目を配りながら、研究している。近代日本において女性自身が書き残した記録についても考察を進めている。
9	アンドウ サチ 安藤 幸	講師	教育学研究科	グローバル教育展開オフィス	ソーシャルワーク。 ソーシャルワーク専門職に必要とされる、共生社会の構築に向けた多様性教育のあり方について研究している。 また、ソーシャルワーク専門職教育の国際化についても関心を持っている。特に、ソーシャルワーク専門職に求められる価値と機能について、コミュニティ・エンパワメントの観点から研究している。
10	ヨコヤマ ミカ 横山 美夏	教授	法学研究科		日本民法の研究および、民法分科を中心比較法的観点からのフランス法研究をしています。
11	ワクイ マサコ 和久井 理子	教授	法学研究科		独占禁止法を中心とする経済法、競争政策について研究しています。
12	タカヤマ カナコ 高山 佳奈子	教授	法学研究科	法政理論専攻 刑事法講座	刑事法学
13	ワタナベ ジュンコ 渡邊 純子	教授	経済学研究科	経済学専攻 歴史・思想分析講座	経済史
14	キタダ ミヤビ 北田 雅	講師	経済学研究科	経済学専攻 ビジネス科学講座	医療経済学 / 臨床心理学 現在は、医療従事者のメンタルヘルスと共に、学生のメンタルヘルス、特に在学期間中に学業不振を来す学生の早期抽出法や早期介入効果について研究をしています。 配偶者の単身赴任期間時の育児等、経験してきたことでお役に立てればと思います。
15	ヒロノ ユミコ 廣野 由美子	教授	人間・環境学研究科	共生人間学専攻 思想文化論講座	英文学、イギリス小説
16	イケダ ヒロコ 池田 寛子	教授	人間・環境学研究科	共生文明学専攻 歴史文化社会論講座	英文学、アイルランド研究 前の勤務先でハラスメント相談委員をしたことでもありますので若干経験はありますが、個別にいろいろと異なった事情があると思いますので、なにかあれば慎重に対応させていただきます。
17	ツチヤ ユカ 土屋 由香	教授	人間・環境学研究科	共生文明学専攻 現代文明論講座	アメリカ研究。特に1950～60年代アメリカの対アジア広報文化外交、核・原子力政策を中心に研究しています。
18	ヒラノ ミサ 平野 美佐	教授	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカ地域研究専攻 社会共生論講座	

19	カネコ モリエ 金子 守恵	准教授	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカ地域研究専攻 社会共生論講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類学</li> <li>・アフリカ地域研究</li> <li>・物質文化研究</li> <li>・アフリカの女性土器職人の技法、継承と創造</li> <li>・コミュニティミュージアムでの実践的な展示活動</li> <li>・日本の農村における村おこしと村人のライフヒストリーより再構成する村の歴史</li> <li>・アフリカの食物繊維を利用した土産物制作と販売についての実践的地域研究</li> </ul>
20	ナカムラ サエ 中村 沙絵	准教授	アジア・アフリカ地域研究研究科	グローバル地域研究専攻 南アジア・インド洋世界論講座	<p>南アジア地域研究・文化人類学</p> <p>南アジアにおける老いとケアの問題について、主にスリランカをフィールドに人類学的な研究を行ってきました。特に、近年都市部で増えつつある老人施設での調査から、老いとその扶養や看取りの現場において、間身体性にもとづく親密圏やケア倫理が構築されつつあることを明らかにしてきました。</p> <p>苦悩、身体、ケアといった医療人類学における諸テーマに加え、喜捨や人道主義など、広義の「贈与」と呼ばれる現象にも関心があります。</p>
21	コンドウ ユキコ 近藤 有希子	助教	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカ地域研究専攻 社会共生論講座	アフリカ地域研究、人類学
22	オチアイ チホ 落合 知帆	准教授	地球環境学	地球親和技術学廊	<p>コミュニティ防災、災害伝通知</p> <p>日本、アジア、アメリカを対象とした地域防災に関する研究を行っています。災害の対象は自然災害(火災、水害・土砂災害、地震等)。災害発生後の避難生活、コミュニティを主体とした住宅再建、災害発生前のコミュニティ防災(消防団や地域組織による災害対策)などを文献調査(古文書を含む)やフィールド調査を通じて研究しています。</p> <p>アメリカの大学(学部)を卒業し、開発コンサルタントで働いたのち、京都大学大学院地球環境学にて学びました。</p>
23	シマダ ヒロコ 嶋田 博子	教授	公共政策連携研究部	公共政策大学院	<p>担当は人事政策論・行政学。</p> <p>33年間の人事院、総務庁(現・総務省)、外務省での勤務を経て、政官関係、比較公務員制度、国際機関人事等を実務家教員として研究。</p> <p>人事院では、全国家公務員に係る女性の採用・登用推進、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等の制度運用、育児介護支援施策の制度設計等も担当していましたので、こうした面でお役に立てることがあれば何なりと。</p>
24	アスリ チョルパン	教授	経営管理研究部	経営管理講座	経営戦略、国際経営、企業統治、経営史
25	フジノ シオリ 藤野 志織	助教	人文科学研究所	人文学研究部	20世紀のフランス文学・芸術 日仏文化交流史
26	ハヤミ ヨウコ 速水 洋子	教授	東南アジア地域研究所	関連地域研究部門	東南アジア地域研究、文化人類学、ジェンダー、家族、宗教、民族
27	ニシ ヨシミ 西 芳美	准教授	東南アジア地域研究研究所	関連地域研究部門	<p>東南アジア研究(インドネシアとその近隣諸地域)、地域研究方法論。</p> <p>インドネシアを主なフィールドに、防災の国際協力、災厄体験の語り直しと社会統合、ナショナリズムと家族主義といった研究に取り組んでいます。</p>
28	オビヤ チカ 帯谷 知可	准教授	東南アジア地域研究研究所	社会共生研究部門	<p>中央アジア近現代史・中央アジア地域研究。</p> <p>具体的には、旧ソ連中央アジア諸国のひとつであるウズベキスタンを主たる研究対象地域とし、ロシア革命期からソヴィエト時代初期の政治と社会、中央アジア民族・共和国境界画定のプロセス、ソ連解体後のナショナリズムと歴史の見直しなどについて研究を行い、最近では中央アジア地域研究のための希少史料の保存・共有のしくみづくりにも関心を広げ、『トルキスタン集成』という稀少資料コレクションのデータベース化を進めている。</p>
29	マツシタ カヨ 松下 佳代	教授	高等教育研究開発推進センター	高等教育教授システム研究開発部門	大学教育学、教育方法学(学習論能力論、評価論)
30	キタムラ ユミ 北村 由美	准教授	附属図書館	研究開発室	南アジア研究、図書館情報学
31	ヨシダ マリコ 吉田 万里子	教授	国際高等教育院		ドイツ語圏労働法、社会保障法、行政法、EU法、薬事法、ジェンダーハラスメント相談員、在外経験30年余、娘(成人)一人の母